

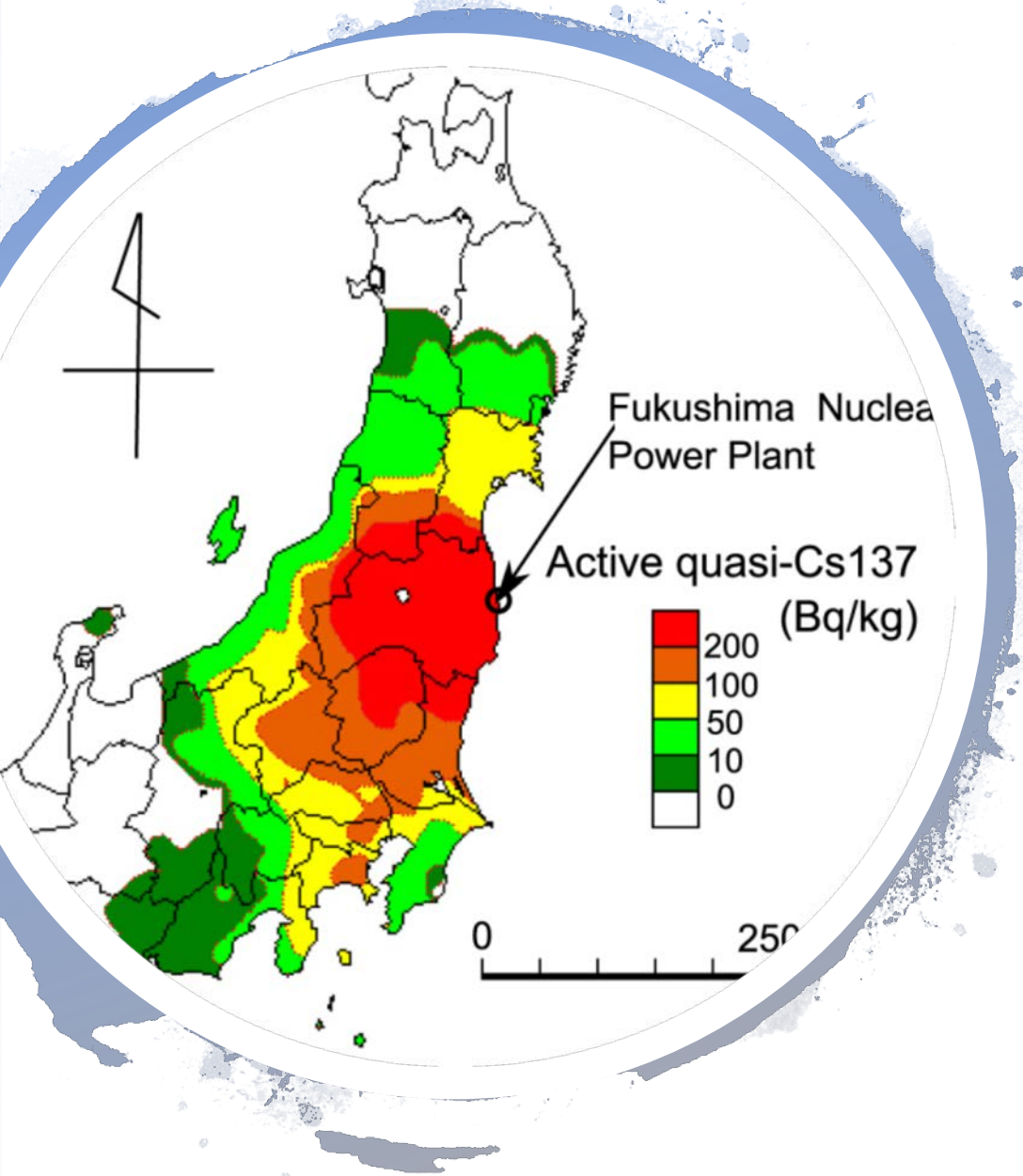


福島核災8年抗戰印象

絆與遮

24

幾點見學經驗



- 福島現況見學：代表字「絆」與「遮」
- 日本學台灣處理核災的經驗
- 週邊情況與風評受害
- 日本食品到底可不可以吃
- 反核食不反核電的悖論



8年來進出福島6次，加入檢測機構學習實驗室管理，參加歐盟會議，訪問德國廢核 / 核廢 / 綠能，我們這一代用盡了核能的好處，留下災難與萬年禍害，試圖找出我們這一代人如何向未來子孫交待的話語

原発七
台湾宜蘭
意見

2013年



会と
代表団の
典会

日(月)



核

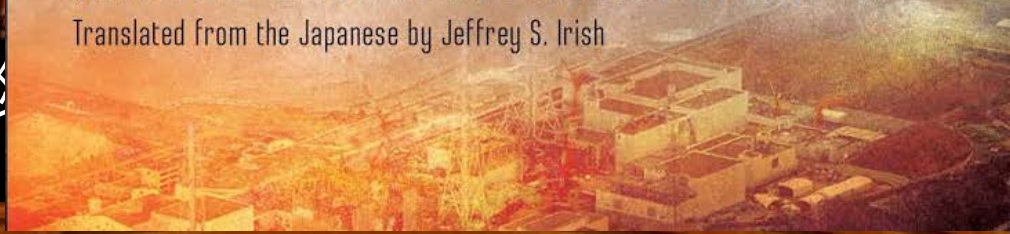


MY NUCLEAR NIGHTMARE

Leading Japan through the Fukushima Disaster
to a Nuclear-Free Future

NAOTO KAN FORMER PRIME MINISTER OF JAPAN

Translated from the Japanese by Jeffrey S. Irish





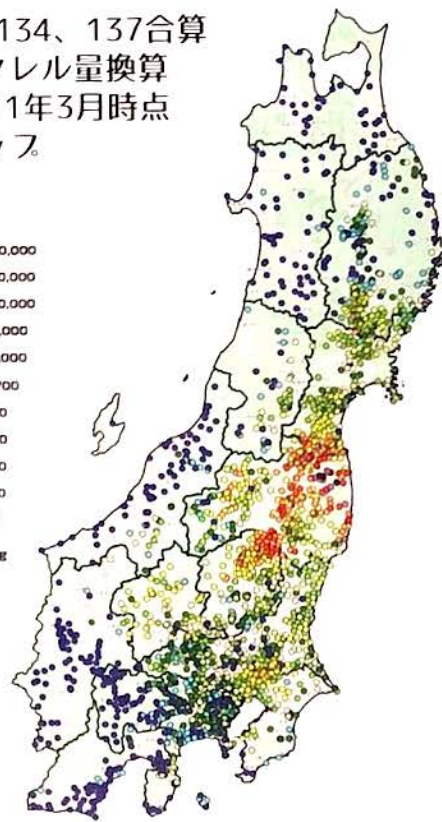
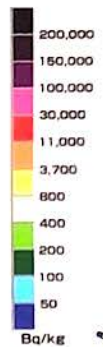
東日本土壌ベクレル測定プロジェクト 放射性セシウム汚染 100年マップ 2011-2111

選擇性的相信

相信政府基於政治動機與目的的無害說？
還是相信市民保護自己不斷檢測的謹慎說？

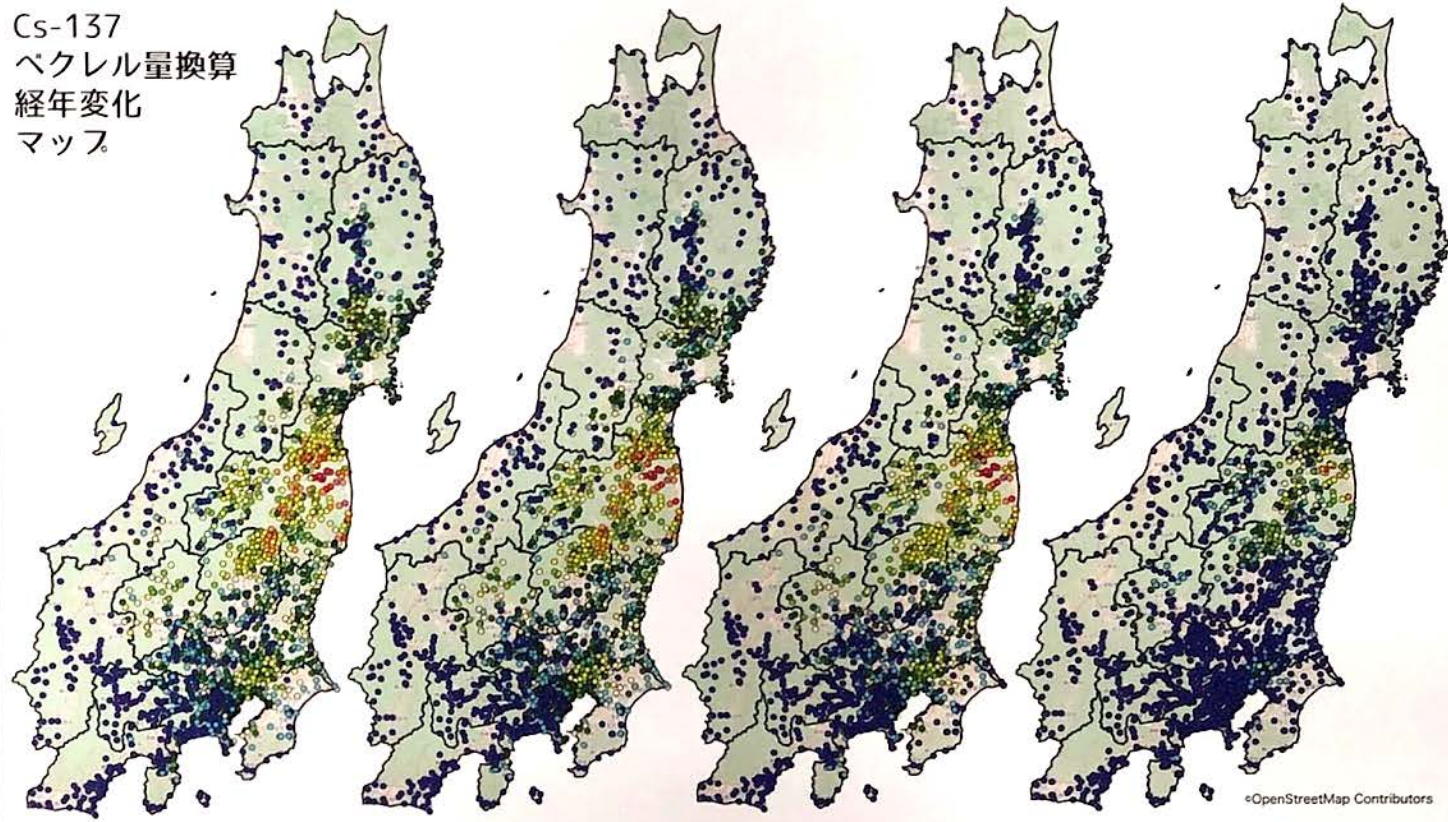


Cs-134、137合算
ベクレル量換算
2011年3月時点
マップ



2011

Cs-137
ベクレル量換算
経年変化
マップ



2021

2031

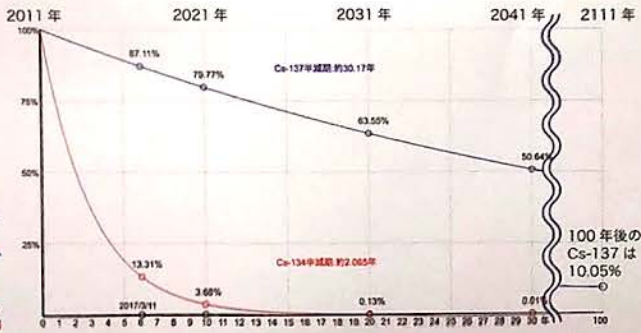
2041

2111

みんなのデータサイト「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」は2014年9月にスタートをし、2年半をかけて、市民の手で3,000ヶ所以上の土壌を採取・測定しました。

2011年3月15日や21日を中心に、東北から関東にかけて風向きや西や南に吹いて、放射性プルーム(雲)から放射性物質が大量に落ち

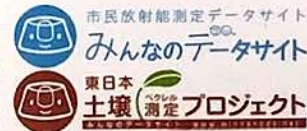
Cs-134は10年経つと32分の1、20年経つと約1,000分の1に減衰してほぼ無くなります。チェルノブイリ原発事故ではCs-137の数値を中心に汚染地図が作られ、住民の避難や補償、保養などの基準として活用されてきています。そこで、今回の事故による放射能汚染がどう経年変化していくかを同じ基準で見られるよう、Cs-137のみの値でマップを作りました。
※これらのマップのベクレル値は、平米あたりではなくキログラムあたりの値です。



東日本土壌ベクレル測定プロジェクト

みんなのデータサイト発行 2017年4月版

minnanods@gmail.com http://www.minnanods.net





デマ・風評注意

着いて情報を見極めてデマや根拠のない情報の鵜呑みは避けましょう




「風評被害」
遮了「核災被害」

離開馬路，
即使冰雪覆，
也是超輻射
劑量



2019年3月4日福島飯館村，
雨加雪

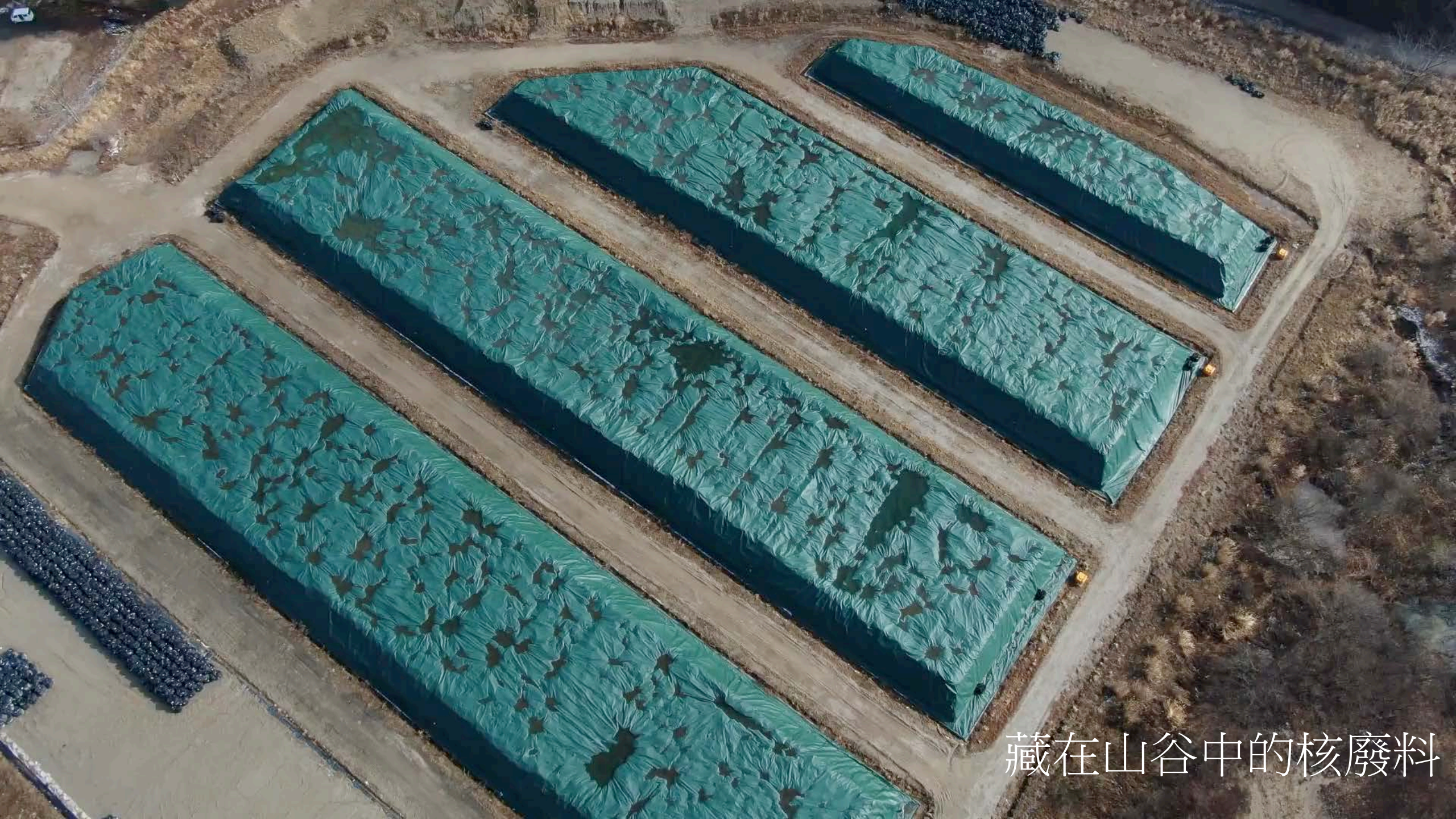


不斷擾動、曝露的核廢料，增加了環境和人員的劑量。
輻射、核廢沒有不見，錢不見了

川泥弁

これより
仮仮置場について
関係者以外立入禁止

仮 = 臨時 = T
仮仮 = ?
T + T
T x T
T^T
T = ?



藏在山谷中的核廢料



福島縣雙葉郡楢葉町永久低階核廢料貯存場（掩埋）



德國康拉德地下1000公尺低階核廢料永久儲存場

永場墓園
貯存場
廃料
核
久貯存場
在居民墓
園旁

**放射性廃棄物の最終処分場
建設に異議を唱える**

放射能汚染により、双葉郡内には人の住めないところがたくさんあって、放射性廃棄物の最終処分場を作るところはいくらでもあるのに、人の住むところに最終処分場建設を受け入れるという。

それなら言いたい「本当にそう思うならば自分の家の近くに作ればいい」と！しかしそういう人たちは「自分のところに作るのはだめ！」という。他人のところに作るのはいのに自分のところはダメ！などという自分勝手な言い方があるのか、と憤慨する！

国・自公連立政権は「何十億円もお金をあげるから最終処分場を引き受けろ」という。町はそれに屈し、故郷榑葉町の自然を売り渡すという。そうして再び榑葉町を汚染させるというのか！

私たちは未来の子どもたちに誓う。

子どもたちにも、権力にも屈しないで、故郷榑葉町の自然環境を守ることががんばり続けよう。

子どもたちに伝えたい。
未来の子どもたちも自然を守るために闘ったということ。

榑葉町一步会

二〇一六年五月





福島第二核電廠和核廢料焚化爐

花了630億日元蓋的，
燒4年就拆了



花了630億日元蓋的，
燒4年就拆了



ランチ



アレルギー
表示
1306kcal

地粉うどんと天丼

コーヒー付 980円 (税込)

当店は国産米を使用しております



那須御膳

1,480円+税

ゆめポークしょうが焼き、
天ぷら、冬瓜、具沢山のけ
美味しさ満載御膳です。

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

	台灣	勝	日本
為檢測不出而檢測 (Detectivity for ND)	從2011年以來，來沒有測到過超過法規值的日本進口食品		日本一直到2015年前才學會，100%符合法規值，99%零檢出

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

台灣 勝 日本

不承認輻射傷害，以勞工安全標準給一般人民用
Civilian
without pay
for radiation
exposure

1980年代起，清華輻射生物館、民生別墅等輻射污染建築興起，不承認輻射有害健康，民生別墅輻射鋼筋屋至今未拆，仍在住人，而無流行病學調查，強調未達20毫西弗「勞工安全標準」

威脅利誘居民返回重輻射污染區，也錯誤引用從業人員曝露年劑量20毫西弗

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

	台灣	日本
掃到地毯下的除污清潔法 Just under the carpet	1980年代核研所即用武器級輻射廢棄物填高速公路，台灣人根本不知道	福島政府還在計劃用核廢料填六號國道，居民反對

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

	台灣	勝	日本
工程永續 永恆的提 款機 Perpetual ATM	核四蓋了30多年 都沒有完工時間 表，永不完工		福島8年來的除 污拆除計劃，也 沒有完工時間表， 只是不斷燒錢

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

台灣 勝 日本

賴著不走
欺負歧視
弱勢族群
Sticked
with the
weaks

核廢料到蘭嶼後以
暫時貯存場名義一
直暫存，沒有搬遷
時間表
高階核廢料40年還
賴在燃料池不走

在弱勢地區設置臨時堆積場，再設臨時臨時堆積場，也沒有遷出時間表

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

	台灣	勝	日本
燒核廢料 減容 Just burn it	台灣自1990年代開始燒每公斤740萬貝克以下的核廢料一燒20年不間斷		核災前只燒100貝克以下，核災後只能燒8,000萬貝克以下 燒3-5年就拆爐

台灣處理核災能力超過全世界，完勝日本

	台灣	勝	日本
民主精神 Democratic spirit	「以核養綠」詐騙 式公投，以缺電、 核電便宜騙取選票 贏得公投		沒想過用騙的也會 贏，連台灣的尾燈 都看不到

台灣核災經驗與日本偷學步

- 台灣是一個勇敢創新的地方
- 過去50年來為了核彈不惜引進核電，寧為玉碎不為瓦全，具有武士道精神
- 如果核災的定義是核輻射的污染，台灣其實比日本更早接受到核災
- 一氣（空浮不斷）、二水（輻射污水橫流）、三火（老是爆炸失火）、四無賴是台灣四座核電廠的寫照，再加上不解決蘭嶼核廢料問題
- 還有著名的輻射馬路、高速公路，以及輻射鋼筋，和清華大學輻射校園
- 桃園龍潭核研所武器級輻射不斷外洩，與週邊居民超高的白血病比例
- 清大學生染色體雙中節事件、輻射生物所的銻污染問題，師生仍使用輻射屋（人體試驗？）
- 以及核研所技轉台電，獨步全球的「實驗性」核廢料焚化爐不需驗證和環評

台湾ナンバーワン

福島の福は幸福の「福」だ

石蒔田 行政区

日本は台湾に授業料を払うべきです